

(別紙1)

令和 6年 6月 11日

院内がん登録全国収集データ利用申請書


国立研究開発法人 国立がん研究センター
理事長 殿

国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所院内がん登録全国収集データ提供規程に基づき、以下のとおり院内がん登録全国収集データの利用を申請します。

申 請 者	(ふりがな) 氏 名 自署の署名 もしくは捺印	さわだ のりえ 澤田 典絵		
	所属・職名	国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部		
	所属住所	〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1		
	申請条件 (該当する番号に○)	1. 学術機関等及び同機関に所属する研究者 2. 学術機関等以外の院内がん登録実施施設及び同施設に所属する者 3. 地方公共団体（都道府県がん対策に関連する部署）もしくは当該業務に従事する職員 4. 国立がん研究センターまたは同センターに属する者（定型利用以外の目的で学術研究のために利用する場合）		
	電話番号	03-3542-2511	FAX	03-3547-8578
	メールアドレス	nsawada@ncc.go.jp		
	希望連絡方法 (該当する番号に○)	①. メール 2. 電話 3. FAX		
研究課題名	がん対策推進基本計画の進捗管理に資する評価指標の実装に向けた研究			
利用目的	希少がん診療の実態を把握するため、希少がん診療を積極的に受け入れているがん診療連携拠点病院等における治療症例数を算出する。全体の集計値は、第4期がん対策基本計画の指標「希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数」として公表される。（各施設名と施設ごとの件数は公表しない）			

解析方法の概要	がん種の定義、別途提出
データの利用方法	<input type="checkbox"/> a. 集計値利用 <input type="checkbox"/> b. 施設名利用 <input type="checkbox"/> c. 個票利用
提供希望データの範囲	症例区分：20 と 30 利用予定の登録年： 2021 年症例
提供希望項目	施設別、がん種（解析方法を参照）別の症例数 診断名コード 300 と組織診断名コード 320 と性別 140 と年齢（生年月日と診断日で計算）に従ってがん種を定義する
個票データの利用期間	<input type="checkbox"/> 個票データを利用しない 利用申請日から ～ 年 月 日まで
データの利用場所	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部・コホート研究部 大阪国際がんセンター がん対策センター疫学統計部 東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野
データの保管場所及び安全管理の方法	国立がん研究センターがん対策研究所 大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部室 東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 1. 組織的安全管理対策 事務局に提出した内容に変更が生じた場合は、事務局に遅滞なく報告するとともに、変更申請を速やかに行う。事務局による監査の申し入れには協力し、指摘事項が生じた場合には速やかに是正する。個人情報情報の漏洩等の事故が発生した、もしくは発生の可能性が高いと判断した場合は、申請者が帰属する組織の情報管理規定に従うとともに、事務局に直ちに報告し、その指示に従う。 2. 物理的安全管理対策 ・提供データの利用場所を上記利用場所に限定し、物理的にデータを持ち出さない。 ・利用場所は常時施錠する。利用場所に随時入室可能な者を限定し、監査に応じて入退室記録を提出する。 ・上記以外の者が利用場所に入室する際は、氏名、所属部署、連絡先、

	<p>入室目的、入室日時、退室日時の記録を含む入退室管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存・解析を行う端末を限定する。保存・解析に使用する端末は、施錠管理された利用場所内で、ワイヤーなどを利用して固定する。モバイル端末の中にはデータを保存しない。外付けの記憶装置に保管する場合には施錠管理する。 <p>3. 技術的安全管理対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム管理者によって管理されている不正侵入検知・防御システムのあるルータで接続されたネットワーク環境を構築している。 ・情報を取り扱うパソコン及びサーバへのアクセスは、ログイン認証機能により利用者のみがアクセスできる。 ・ID とパスワードのみによる認証機能を用いる場合は、パスワードを8桁以上の英文字、数字、記号を含むものとし、定期的に変更する。また他者と共有しない。 ・端末にはウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルスパターン定義ファイルは少なくとも48時間毎に定期的に更新する。 <p>4. 人的安全管理対策</p> <p>申請者はすべての利用者を監督し、以下の事項の責任を負う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データに触れる者は利用者に限られる。 ・中間生成物の共有範囲が、申請書に記載された範囲を逸脱しないようにする。 ・利用者全員が、利用終了あるいは離任等の理由により、利用者ではなくなったのちも秘密保持を徹底させる。 ・作業の一部でも利用者以外に委託しない。 ・技術的安全管理、物理的安全管理を確保する。 												
<p>研究財源</p>	<p>2023～2025 年度厚生労働科学研究費「がん対策推進基本計画の進捗管理に資する評価指標の実装に向けた研究（23EA1007）」（研究代表者：澤田典絵）</p> <p>2023～2025 年度厚生労働行政推進調査事業費「がん対策推進基本計画におけるロジックモデルの構築・改善に関する研究（23EA2001）」（研究代表者：井上真奈美）</p>												
<p>利用者 (直接のデータ解析者)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="240 1630 491 1686">氏名</th> <th data-bbox="491 1630 1193 1686">所属</th> <th data-bbox="1193 1630 1396 1686">職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="240 1686 491 1753">澤田典絵</td> <td data-bbox="491 1686 1193 1753">国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部</td> <td data-bbox="1193 1686 1396 1753">部長</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1753 491 1921">森島敏隆</td> <td data-bbox="491 1753 1193 1921">国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 兼 大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部</td> <td data-bbox="1193 1753 1396 1921">外来研究員 部長</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1921 491 2018">東 尚弘</td> <td data-bbox="491 1921 1193 2018">東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野</td> <td data-bbox="1193 1921 1396 2018">教授</td> </tr> </tbody> </table>	氏名	所属	職名	澤田典絵	国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部	部長	森島敏隆	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 兼 大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部	外来研究員 部長	東 尚弘	東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野	教授
氏名	所属	職名											
澤田典絵	国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部	部長											
森島敏隆	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 兼 大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部	外来研究員 部長											
東 尚弘	東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野	教授											

	南 哲司	国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部	研究員
中間生成物のみを共有する者の範囲 (研究班等。利用者と同じであれば「利用者と同じ」と記入)	下記研究班の班員、会議出席者、リストは別途添付 2023~2025 年度厚生労働科学研究費「がん対策推進基本計画の進捗管理に資する評価指標の実装に向けた研究 (23EA1007)」 2023~2025 年度厚生労働行政推進調査事業費「がん対策推進基本計画におけるロジックモデルの構築・改善に関する研究 (23EA2001)」		
施設における研究倫理承認状況	集計値利用(施設名利用あり全国、および、都道府県別集計)のため倫理審査なし		
予定している公表方法、公表時期	2024 年 8 月のがん対策推進協議会での資料として提供		
所属長承認 (職名・氏名) 自署の署名 もしくは捺印	国立がん研究センター 理事長 中益 裕 		(印)
その他 特記事項	<p>●厚生労働行政推進調査事業費「がん対策推進基本計画におけるロジックモデルの構築・改善に関する研究 (23EA2001)」研究班では第4期がん対策推進基本計画の評価に用いる指標の算出・評価を行うため、厚生労働省の担当官を含め様々な分野の専門家が参加されている。本申請での集計値を指標として利用することを予定しており、この研究班班員内での共有が必要であるため、20名以上の人数となっている。</p> <p>●第4期がん対策推進基本計画における指標算出の一環として、希少がんの診療実態を研究班内および厚生労働省と協議する目的で利用するため、実値での提供を希望する。病院別の治療症例数を、少数を秘匿した数値(例:1-3・4-6・7-9)で提供を受けると、全国の総計を算出するときその全国値が実態から大きく外れる可能性がある。よって、病院ごとの治療症例数の実値を必要とする。</p>		

データ利用審査委員会使用欄